

人工林の間伐により下草の生える環境を整えた事例

事業名 環境貢献林整備事業

市町名 福山市

取組のきっかけ・経緯

- 手入れができず放置された森林（人工林）の整備について、森林所有者から相談を受け、本事業を実施することになった。

今後の展開

- 公益的機能を持続的に発揮するために継続して森林管理を行う必要がある。

取組の内容

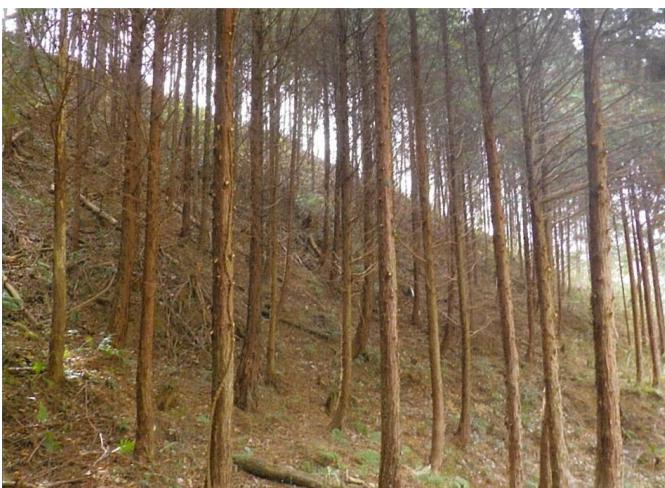
- 事業主体:広島県東部森林組合
- 実施場所:福山市新市町
- 業務量:0.78ha
- 業務金額:329,160円
- 実施期間:令和7年3月10日
～令和7年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

- 手入れがなされず放置された人工林を整備し、下層植生を回復させる環境づくりを行うことができた。
- 当整備地の森林所有者（共有林）は周辺にも森林をもっており、一帯の整備意欲向上につながった。

【整備前】



【整備後】



里山林の再生・保全に向けた取組みとして講習会を行った事例

事業名 森林・林業体験活動支援事業

市町名 福山市

取組のきっかけ・経緯

・現在、福山市内には荒廃した里山林が多数存在している。この状況を改善するためには、まずは市民一人一人が草刈機やチェーンソーなどの使い方を学び、里山林の管理に関する知識を取得することが重要であると考え、里山林の持つ多面的機能の再生・保全に向けた取組みのひとつとして本事業を実施した。

今後の展開

・講習会で学んだことを活かして、各地で里山林の再生・保全活動がより活発に行われるようにするため、里山保全活動支援事業等により、継続的な支援を行う。

取組の内容

- ・事業主体:福山市
- ・実施場所:市内森林公園
- ・業務委託先:広島県東部森林組合
- ・参加者数:24人
- ・業務金額:218,000円
- ・実施期間:令和6年12月7日

【活動前】



取組後の感想

【良かった点】

- ・緩衝地帯整備事業を行った地区の住民や、里山保全活動支援事業を検討中の団体関係者などの参加があり、今後の活動の広がりに期待が持てた。

【活動後】



住民主体の森林整備に向けた環境整備を行った事例

事業名 特認事業(地域資源保全活用事業)

市町名 福山市

取組のきっかけ・経緯

- ・事業地の山林一帯は、権現の森と呼ばれ、古くから地元の方や参拝者に親しまれてきたが、平成30年豪雨により散策道が寸断された。
- ・当地区では、町内会が構成員となって、主体的に森林保全活動を行っており、本事業をきっかけに、住民の参加と連携による地域活性化を図りたいとの要望があった。

今後の展開

- ・森林利用者の憩いの場となるよう、地域住民が主体となって、下刈り等の森林保全活動や植樹を行う。
- ・頂上まで距離があるため、手摺やベンチを設置し、安心して散策できる環境整備を進める。

取組の内容

- ・事業主体:権現の森整備実行委員会
- ・実施場所:福山市駅家町服部本郷地区
- ・業務量:歩道整備150m 階段整備200段
森林保全活動 0.4ha
- ・業務金額:1,912,000円
- ・実施期間:令和6年7月1日
～令和7年3月4日

【整備前】



取組後の感想

【良かった点】

- ・歩道整備により、周辺の雑木林の除伐や下刈り作業がとても楽になった。
- ・これまでには急勾配の歩道箇所が多く、参拝が大変だったが、階段整備により、頂上の権現神社に参拝がしやすくなった。

【整備後】

